

平成30年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

臨床心理学

(250点満点)

問題1 学習理論には、パプロフの研究に代表されるレスポナント条件付けと、スキナーの研究に代表されるオペラント条件付けの2つがある。このことについて以下の問いすべてに答えなさい。

1. レスポナント条件づけ及びオペラント条件づけについてそれぞれ説明し、2つの学習理論の異同について考察しなさい(500字から700字以内で述べなさい)。
2. 2つの学習理論のいずれかを基にした臨床心理支援方法を、具体例とともに説明せよ(400字から600字以内で述べなさい)。

問題2 個人心理療法は、非日常の場面でクライアントと出会う。しかし、実際は、日常の生活場面で、期せずして出会うこともありえる。ある日常場面であなたが臨床心理士として担当するクライアントと偶然に居合わせることになったとする。その状況を具体的に想定して記述し、その場面で、あなたはどのように感じ、振る舞うのかについて、その理由も合わせて述べなさい(800字以内で述べなさい)。